

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [清心女子高等学校] 担当教諭名 [松村 亜貴子] (1年C組 国際系コース 11名)
 相手国・地域 [東ティモール]
 海外学校名 [Escola Basica Central Farol] 担当教諭名 [伊藤 真実]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	コミュニケーション英語 I	アートマイルプロジェクト	22

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Clean Water and Sanitation
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	世界中にきれいな水が溢れ、自然豊かで明るい地球になるのか、それとも、水を汚し、汚い海と緑の乏しい地球になるのかは人間次第。一人一人の小さな行動が地球の未来を左右する。考えて自分にできる小さな行動を起こそう！



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>同じテーマについて全く生活環境の異なる生徒同士が意見交換することは、「異文化理解」の一助となった。先進国の豊かな生活によって、そうでない国の人々の生活を脅やかしたり、権利を奪っていることについて理解し考える機会となった。</p> <p>また、想定していた通りの交流が出来なかったことで、環境や生活習慣の違いを体感することとなった。そのため、相手の立場を理解する力、困難なことを乗り越えるために恵まれた立場にある者が寄り添い工夫する力が養われた。</p>	<p>日本側生徒は高校生であるのに対して、相手国の生徒は中学1、2年生だったため、自己紹介の段階から、対等な立場での交流が難しかった。また、発展途上国の生徒の生活環境や学校体制と日本の体制の違いが大きく、なかなかテレビ会議をすることができなかったため、深い交流に繋がらなかった。これは、担当教員同士がもう少し密に連携をとれば解消できた課題だったと反省している。フォーラムをもっと活用して克服できる課題も多いと考えている。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>パートナーが決まり、相手国を東ティモールだと発表した際、「どこ？」という反応が大半を占めており、大変興味を持ってくれた。その反面、自分で調べるのではなく、与えられた情報を聞いて喜んでいるだけで、主体的に調べるといった行動が見られなかった。</p> <p>しかし、一年を通じて、「水」の問題に限らず、世界の課題について多くの英文を読みながら、調べ学習をし、プレゼンテーションをする中で、主体的に学び考えて意見を発表する力が養われた。「こんな大きな課題、自分たちに何ができるか分からない。」という声が多かった4月から、「自分たちの小さな行動が積み重なれば世界は変わる。」「高校生にもできることはある。」という言葉へと変わった。</p>	<p>これまで、高校生が実行できることには限界があるため、世界の課題について知る機会を与えることが教師の役目だと考えていた。しかし今回、知の習得と共に実感を伴う体験・行動を起こす機会を与えることができ、教師の意識も大きく変化した。壁画を作成するにあたって、相手国の環境や立場を考えて半分を作成する思いやりや実行力が見られたことから、知識を活かして、自分たちにできることを自分たちで考えて実行できるという確信が生まれた。また、今年度の課題を踏まえて、更に深い交流や学びの場となるよう、来年度に生かしたいという意欲が沸いた。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介をする。ポスターと顔写真、ビデオレターを LINE で交換し、LINE 電話で事前に送った自己紹介について質問をし合う。 学校を紹介したパワーポイントの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介のポスターやビデオレターの作成を楽しんで行った。 相手国からの自己紹介の英文や写真に強い興味関心を示し、たくさんの質問ができた。 	外国語6
共有 テーマ学習	7月 9月	<ul style="list-style-type: none"> 相手国について調べ学習し、一つの資料としてまとめる。 世界の様々な課題や、それに取り組む人々について、英文や You Tube を観て学習。テーマは「貧困」「水」「世界の課題解決のために活動した日本人」「医師中村哲」 	<ul style="list-style-type: none"> 相手国について知らないことばかりだったため、大変興味を持って調べ学習を進めることができた。 あらゆる英文や You Tube に興味関心を抱き、楽しみながら考え学ぶ様子が見られた。 	外国語5
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> バーチャルウォーターを両国の生徒で計算し比較する。 自分たちの水の使い方について考える。 テーマの決定 	<ul style="list-style-type: none"> 相手国との一人当たりの一日の水の利用量の差に驚くとともに、自分たちの生活を見直したいという意識の変化が見られた。 	外国語4
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 構図 壁画作成 	<ul style="list-style-type: none"> クラス内で意見の違いが露呈し、主張の仕方に問題のある生徒もあったため、初めて衝突が起こり、一番困難な時期だった。しかし、それを乗り越えて壁画が出来上がった時、また相手国から戻ってきた壁画を見た時は、充実感に溢れた様子だった。 	外国語6
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返って、学んだことと課題点を発表 	<ul style="list-style-type: none"> あまり時間が取れなかったため、ゆっくりと振り返ることができなかった。 	外国語1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	3	自国理解が主なテーマではなかったため、自己紹介や学校紹介に力を入れ、交流の基盤をつくることとした。
異文化を理解する力	4	異文化理解が主なテーマではなかったため、交流にはあまり力を入れていないが、相手国についてはしっかりと調べ学習ができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	各活動において、必ず情報収集、主張(発表)、意見交換、まとめを行ったため、情報活用能力が習得できた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	自分の暮らしと相手国の暮らしを比較し、共通点と相違点を発見することで、共感する力を養った。また、様々な課題について英文で学んだ。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	課題についてのデータや英文を分析し、まとめ発表をする際、感情的な判断をせず、客観的なデータを読み取り分析するよう指導した。
主体的に考え行動する力	4	世界の課題解決に取り組む高校生について学ぶことで、高校生にも意志があれば役割を果たすことができるという確信を持てた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	同じ日本の仲間で構図を考える際、なかなか意見がまとまらず、時には衝突することもあった。そのことから、同じ文化を持つ人同士でも意見が違うのだから、海外の相手との協働には、尊重や思いやりが必要だということを体感した。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	一つのメッセージを可視化するのが難しく、構図に大変時間がかかった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	2	3月に十分な時間をとって評価する予定だったが、休校になり、時間が取れなかった。